

重要取組シート

| 取組項目 | | 地域の防災・減災力の向上 |
|--------|--------------|--|
| 現状・課題 | | <p>(1) 地域と連携した防災・減災力の向上 異常気象による集中豪雨の発生や、南海トラフ巨大地震が危惧される中、避難所の運営など、自助・共助・公助の連携による防災活動が重要となることから、地域防災力の向上を図ることが喫緊の課題となっている。</p> <p>(2) 予測せぬ突発的な集中豪雨の際の速やかな避難所開設の体制整備 昨年 9 月に中区で発生した突発的な集中豪雨では、短時間に災害発生度が高まり、緊急に避難所を開設しなければならない事態となった。避難所対応職員によるこの急転した事態での速やかな対応が課題となっている。夜間や休日の場合なども想定した、突発的な集中豪雨にも速やかな避難所開設ができる新たな体制整備が必要である。</p> |
| 取組の内容 | | <p>(1) 地区防災計画作成支援 ・地域特性を反映し、地域住民自らの手で作成する避難所運営マニュアルや、校区防災カルテを含む地区防災計画を作成する取組に対して、専門家の派遣等の支援を行う。</p> <p>(2) 中区災害対応マニュアルの改正及び予測せぬ突発的集中豪雨対策 ・警戒配備体制に関して、災害の規模、状況に応じた職員の動員配置を見直すなど、令和元年度に制定した中区災害対応マニュアルを改正する。 ・また、予測せぬ突発的集中豪雨にも速やかに避難所が開設できるよう、さまざまな場面を想定し、避難所対応職員をバックアップする体制も考えておく必要があり、庁内関係部局や地域等と調整しながら、新たなバックアップ体制整備に向けて取り組む。</p> |
| スケジュール | 前期 (～7月) | <input type="checkbox"/> (～7月) 地区防災計画作成支援、希望校区の選定 <input type="checkbox"/> (～5月<出水期まで>) <ul style="list-style-type: none"> ・中区災害対応マニュアルの改定 ・避難所開設訓練・IP 無線機による連絡訓練の実施 ・避難所開設に係るバックアップ体制整備に向けた関係者との各種調整 <input type="checkbox"/> (6～7月<出水期>) 避難所開設に係るバックアップ体制の試行、検証 |
| | 中期 (～11月) | <input type="checkbox"/> (～11月) 地区防災計画作成支援、内容の調整 <input type="checkbox"/> (～9月) <ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設に係るバックアップ体制の運用 ・避難所開設訓練・IP 無線機による連絡訓練の実施 |
| | 後期 (～3月) | <input type="checkbox"/> (～3月) 地区防災計画作成支援の実施 <input type="checkbox"/> (～3月) 大規模災害対応訓練 |
| | 次年度以降 | <input type="checkbox"/> (4～3月) 事業継続 |
| 進捗の状況 | 前期 (～7月) | <input type="checkbox"/> (～7月) 地区防災計画作成支援、希望校区の選定 <input type="checkbox"/> (4月～) 中区災害対応マニュアルの改定作業 <input type="checkbox"/> (5月) 避難所開設訓練・IP 無線機による連絡訓練の実施 <input type="checkbox"/> (4月～) 避難所開設に係るバックアップ体制整備に向けた関係者との各種調整 |

| | | | |
|------------------|--------------------|--|--------------------|
| | 中期 (~11月) | <input type="checkbox"/> (~11月) 地区防災計画作成支援、内容の調整 <input type="checkbox"/> (9月) 大阪 880 万人訓練にかかる連動訓練として、マンホールトイレ設営訓練の実施 | |
| | 後期 (~3月) | | |
| 2025 堺市基本計画 | 該当する 施策 | 5- (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 | |
| | 寄与する KPI | — | 目標値 (2025 年度) — |
| 未来都市計画 堺市SDGs | 最も貢献する SDGsのゴール | ゴール番号 11 | 住み続けられるまちづくりを |
| | 寄与する KPI | — | 目標値 (2023 年度) — |